

歴史的視点で捉えたペー（白）族

-雲南省大理盆地で調査する人類学者の考察-

横山 廣子

国立民族学博物館／総合研究大学院大学文化科学研究科

第13回雲南懇話会 2009年12月12日（土）

大理盆地と蒼山



蒼山から洱海を眺める



ペー族の田起こし(大理市)



ペー族の田植え(大理市)



冬至の日の餅つき



餌塊(うるち米のモチ)



乳扇 (牛乳でつくるルーシヤン)



乳扇をつくる



フェルトづくり



ペー族伝統の建築様式の村役場



剣川のペー族の木彫



木彫に使われるノミの一部





Baphicacanthus cusia BREMEK. (= *Strobilanthes flaccidifolius* NEES) リュウキュウアイ (キツネノマゴ科)



大理市の三塔寺(崇聖寺)

南詔時代に創建、唐代に長安(西安)に建てられた「大雁塔」に様式が似ている



祖先を祀る位牌



上棟式に勢揃いする親族の長老



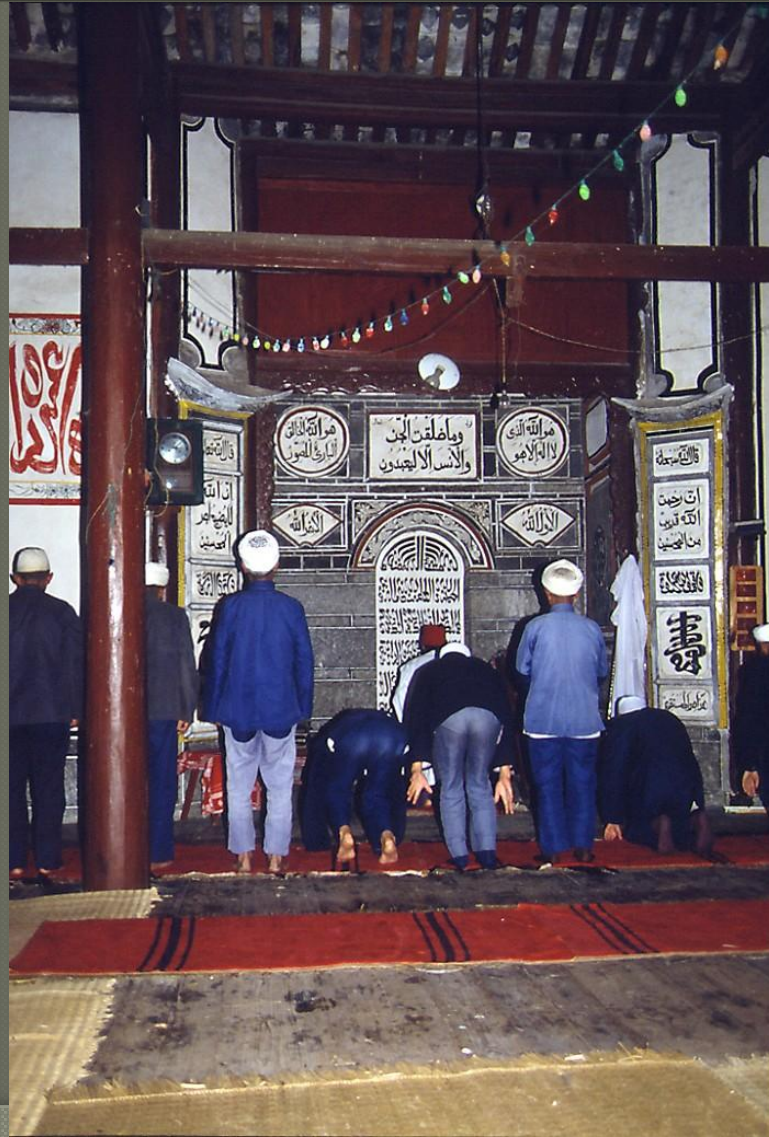
大理盆地周辺の山地の人びと



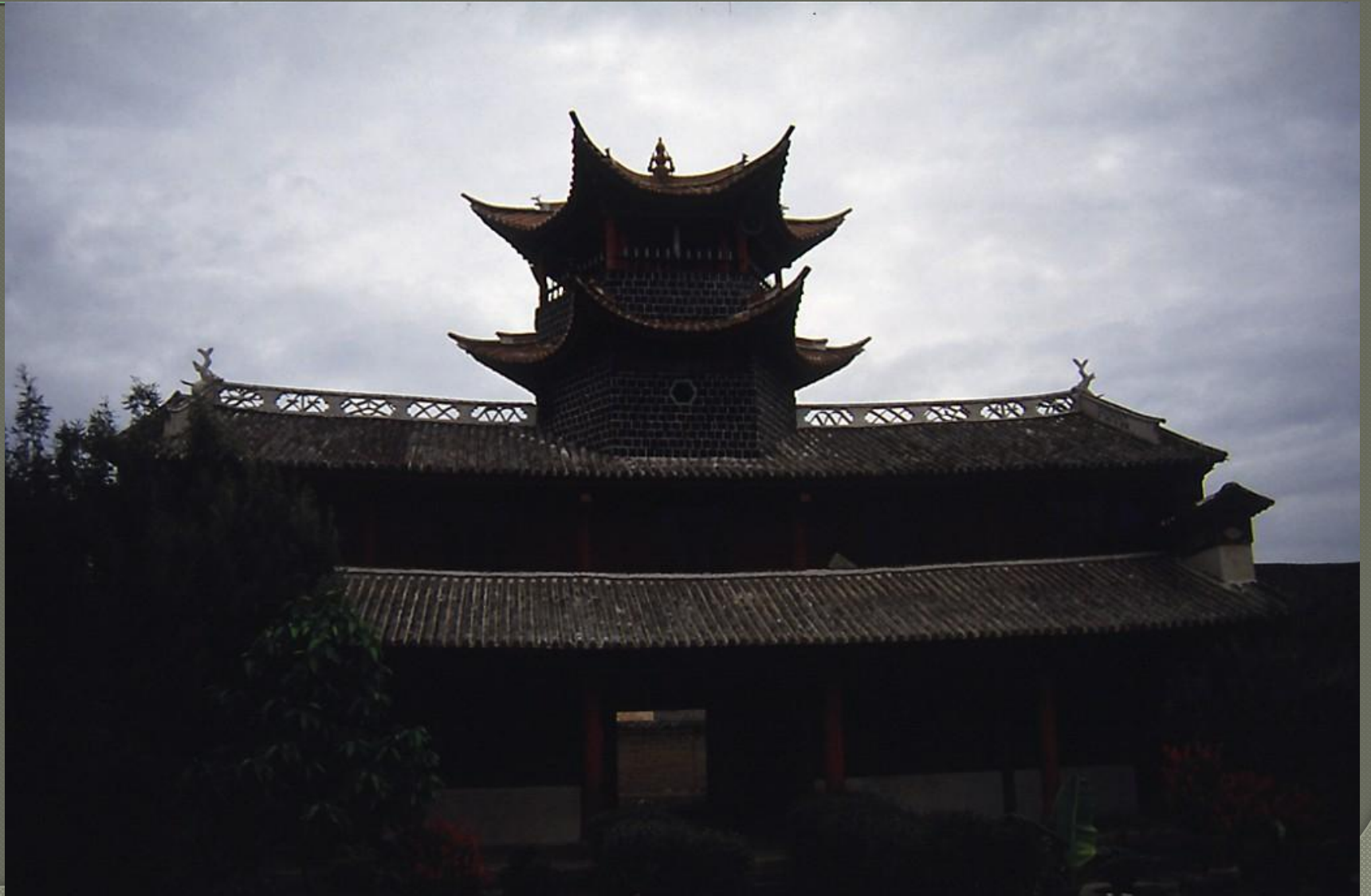
鶴慶のペー族の婚礼でチャルメラ を吹く山村のイ族



大理の回族



清真寺（モスク）



回族の家内（階上）





回族の墓





大理古城内の回族レストラン



















Handwritten text in Devanagari script on a palm leaf manuscript. The text is arranged in approximately 20 horizontal lines, though the lower portion is obscured by a dark shadow. The characters are finely etched into the natural texture of the dried leaf. The script appears to be a form of classical Sanskrit or a regional dialect. The visible portion of the text includes words such as 'सर्व' (Sarva), 'मन्त्र' (Mantra), and 'मन्त्र' (Mantra), suggesting a religious or philosophical context.



戊午春... 知鳳翔縣... 爲... 行... 命... 尊... 德...

有須來... 今日者... 二... 方... 每... 去... 五月初一日...

曰長曰... 善行... 德... 公也... 何氏... 曰... 曰... 曰... 曰...

六年正月初八日... 二月五月初一日... 六月... 六日... 六日... 六日...

母道... 弟承... 德洽民心... 德行馨香... 郡邑咸稱... 以彰先德... 以利後昆... 慶無窮... 愈遠愈隆

縣府 鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石

縣府 鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石
鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石
鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石
鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石
鼎 府 僧 細 司 都 涸 端 雲 書 石







